

NPO 法人岡崎がくどうの会

放課後児童支援員都道府県認定資格研修レポート

科目①『放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容』

科目⑨『子どもの遊びの理解と支援』

科目②『放課後児童健全育成事業の一般原則と権利擁護』

科目⑩『障害のある子どもの育成支援』

科目③『子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ』

科目⑪『保護者との連携・協力と相談支援』

科目④『子どもの発達理解』

科目⑫『学校・地域との連携』

科目⑤『児童期（6歳～12歳）の生活と発達』

科目⑬『子どもの生活面における対応』

科目⑥『障害のある子どもの理解』

科目⑭『安全対策・緊急時対応』

科目⑦『特に配慮を必要とする子どもの理解』

科目⑮『放課後児童支援員の仕事内容』

科目⑧『放課後児童クラブに通う子どもの育成支援』

科目⑯『放課後児童クラブの運営管理と運営主体の法令の遵守』

【クラブ】（ たけのこクラブ ）

【名 前】（ 野口湧太 ）

全 16 回の講義で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

複数の講義を受け、一番大切だなと思ったのは子どもの安全をとにかく守ることだと思いました。

子ども達の命を預かっているので「おかえりなさい」から「さようなら」まで危険がないように、しっかり見守っていきたい。

保育現場における子ども達の事故は、毎年のように発生していて、中にはバスの中での放置による死亡事故や重篤な事例も見られます。

しかし、子ども達が日々の様々な活動を通して成長していく過程で、ケガなどのリスクを完全に排除することは事実上不可能に近いと思います。

ですが、事故の発生を未然に防ぐことはできます。

子ども達に危険があることを辛抱強く繰り返し伝えることで、安全管理の知識と危険回避能力を定着させることができれば、事故のリスクを少しは減らすことができると思います。

ヒヤリハットに気づいた時だけでなく、何か活動する前に都度、言葉かけを行うことで、徐々に理解も深まり安全な生活習慣を身に付けることが期待できます。

子ども達は、どのような行動や場所が危険であるかを認識できない場合があるため、ちょっとした声かけを大事にしていきたいと思います。